

若者の発想を取り入れた新しいまちづくり

鳥取市立美保南地区公民館

公民館の沿革・年表

- ・昭和62年 美保地区から分離、美保南地区公民館開設
- ・平成 4年 美保南地区公民館竣工
- ・平成17年 子育てサロン（乳幼児の親子対象）開設
- ・平成20年 美保南まちづくり協議会設立
- ・平成29年 市立美保南小学校運営協議会に参画
- ・令和 2年 公民館における若者まちづくり事業の開始
（夏休みサマースクールの開催）



夏休みサマースクール（体験学習）

公民館とまちづくり協議会による協働事業で、小学校で実施。若者たち（大学生）が企画・運営し、公民館・地域・学校がサポートしている。

5日間の日程で、1時間勉強のあと2時間程度遊びやゲームなどを楽しむもので、54名が参加した。

（写真は、フルーツバスケットゲームを楽しんでいる様子）



ホワイトデーに向け、大学生が考案したレシピでお菓子作り。

9名の子どもたちが参加。講師の大学生とも打ち解けて楽しそうにお菓子作りをしている様子。

地域イベント『子どもお菓子教室』（公民館事業）

★取組のきっかけ★

夏休みや冬休みの間、勉強をしに公民館へやって来るが、ほとんどの時間がただなんとなく遊んでいる状態であったことから、子どもたちの勉強や一緒に遊んだりすることができる若者たち（中学生～大学生）を探していた。子どもを育むまちづくりを進めている中、当公民館が参画している小学校のCSが先生に行ったアンケートで「勉強を地域の方に見てもらう機会を作ってもらえないか」などの意見があったことから、若い世代の発想を取り入れた新しいまちづくりを進めていきたいと考えていた。

このため、市の「公民館における若者のまちづくり事業」を活用し、若者の新しい発想を取り入れたまちづくりに取り組むことにした。

★★取組内容★★

【夏休みサマースクール若者のまちづくり参画）】

夏休みの宿題と併せて体験をしてもらうことで子どもたちに創造力・人間力を養ってもらおうと、令和2年度から開校した。学校との連携を考慮して小学校の多目的ホールを利用している。実施にあたっては、方向がぶれないよう基本方針を示し、若者の柔軟で斬新な発想を活かすため、

「若者まちづくり事業」に応募した4名の鳥取環境大学生に企画・運営を担ってもらい、公民館は子どもや地域ボランティアの募集などを担当。また、学校・関係者にプレゼンし情報を共有することで先生による学習のサポートを得ることができた。参加した子どもたちからは、「楽しかった。来年もやってほしい。」と好評であった。



校長先生もサポート！



勉強の時間

アイロンビーズ
だよ！

令和3年度は大学生を6名に増員し、地域の中・高生10人も加わって協議を重ねながら企画を練ってきたが、直前の新型コロナウイルスの感染拡大によりサマースクールは中止した。

しかしながら、楽しみにしていた子どもたちのため、サマースクールの一環として企画していた「夏休み工作教室」、「星を観る会」を単独で実施。

「工作教室」は、竹灯籠の材料の調達・準備を地域のボランティアが担当、製作指導には学生が担当し、地域住民と学生が連携した取組を行った。

「星を観る会」は、募集チラシの作成を中学生に、天体の映写・観察・機材調達等の運営は星の専門である鳥取環境大学天文部の学生が担当するなど若者同士が連携した取組を行った。



プレゼンの様子



星を観る会



できあがった作品♪



穴開け作業

★★★★公民館として大切にしていること★★★★

地域住民の方たちが気軽に寄ることができ、公民館を訪れた方たちが「楽しかった」、「また来たい」と思っていただけのように**"つながり"**を大切にする公民館でありたい。

そのため、公民館ロビーの一角に教養講座等の作品を展示したり、冷温水が出るウォーターサーバーを設置し、訪れた方たちが冷たいお水や温かいお茶やコーヒーを飲みながらくつろいでいただけるようギャラリーを兼ねた休憩室を整備するなど工夫を凝らしている。

また、公民館に求められる講座や学習内容が高度化・多様化している中において、公民館職員だけでは対応が困難な場合も出ており、今後は専門的な技術・知識を有した会社やNPO法人等の発想を取り入れるなど、民間企業やNPO法人との協働による公民館運営にも積極的に取り組んでいきたい。

そして、サマースクールを『**子どもの居場所**』として、定期的開設できるよう検討していきたい。

